

運営グループ

①【台東国際青年商会との継続的な国際交流】

(現状と課題と理想像)

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)及び台東国際青年商会(以下、台東JC)は、1975年のASPAC大会で開催された懇親会での出会いをきっかけに友好JCの調印をかわし、2024年度に49年目(48周年)を迎えます。2023年度は5年ぶりに、渡台5名、来飯25名と互いに訪問し、交流を深めました。

友好JCになって以降、諸先輩方は毎年交互に訪問と交流を行っていました。しかし、2019年12月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、旅行や現地での交流ができず、国境を超えた人とひととの繋がりが希薄化していました。諸先輩方が紡いでこられた飯塚JCと台東JCとの現地台東での交流も例外ではありません。また過去に台東での交流を経験された諸先輩方の多くは卒業され、過去の交流や経験を聴く機会は減りつつあります。

最終的には、経済、文化等に関する交流を行うことによって、会員相互の理解と友情を深め、国際的視野にたった両国間の親善と友好を深めることを理想とします。

(目的)

対内:

■現地台東での交流を行うことで、希薄化されつつある友情関係と相互理解を取り戻し、諸先輩方が紡いでこられた台東JCとの歴史を再認識することを目的とします。

■また現役メンバー同志の友情関係を育み、深めると共に、次年度へ継続するきっかけとなることを目的とします。

(事業内容)

■台東国際青年商会との継続的な国際交流を実施します。

- 1) 台東JCとの交流の魅力を発信するために、例会にてキャラバンを行い参加意識向上を図ります。
- 2) 世界会議期間中、前後(2024/10/26-11/5)に、台北もしくは台東で交流を実施します。
- 3) 現地台東では、台東JC現役メンバーのみならず、シニアメンバーの方との交流を図り、台東JCとの歴史を学びます。またアフターコロナ後の台東を知り、交互の訪問交流が継続するような学びや経験を持ち帰ります。

(事業)

年間事業フレーム

一般社団法人飯塚青年会議所

運営グループ

常任理事 栗原一喜

全
国
大
会
く
東
京

世
界
会
議
く
ス
イ
ス

京
都
会
議
く
京
都

A
S
P
A
C
く
カ
ン
ボ
ジ
ア

サ
マ
リ
ン

全
国
大
会
く
福
岡

世
界
会
議
く
台
湾

運動・事業名	9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
台東国際青年商会との継続的な国際交流	引継・調査研究												パートナーとの会議・連携												事業計画 報告事項				事前 準備		事業 実施		検 証		報 告		引 継																											
予算及び決算等の会計業務	引 継	特別会員 一般会計当初予算			各種大会分担金 三大大事特別会計				一般会計 修正予算				一般会計補正予算												一般会計決算																																							
飯塚JC全体で取り組む会員拡大	通年																																																															
飯塚JC全体で取り組む山笠運営	山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																								本番		山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																																					